

3年生保護者様

森町立旭が丘中学校長 池谷 仁

修学旅行の中止について

残暑の候、保護者の皆様におかれましては、日ごろより本校の教育活動に御支援、御協力をいただき誠にありがとうございます。また、先日は、修学旅行の事前検討会にたくさんの方に御参加いただき、心より御礼申し上げます。

さて、当初の予定では、事前検討会での御意見を踏まえて、安全面に配慮した上での修学旅行の実施方法を検討し、その内容について、保護者説明会を開催し、説明する予定でした。しかしながら、コロナウイルスの全国的な感染拡大を受け、保護者の皆様の御意見や生徒の思いを踏まえながら、修学旅行の実施について職員で検討を重ね、さらにPTA会長・副会長・学年委員の皆様にも相談させていただいた結果、修学旅行を中止せざるを得ないと判断しました。生徒や保護者の皆様の気持ちを察すると、教職員といたしましても辛い決断ですが、修学旅行がなくとも、義務教育の最終学年にふさわしい心に残る日々となるよう全力で努めて参ります。御理解、御協力のほど、よろしくお願いいたします。なお、判断の主な理由、経緯は下記の通りです。

記

検討会での主な御意見

- ・行かせてあげたいが、とにかく不安。(リスク回避の難しさ、発症時の対応、迎えや隔離の不安、感染した場合や感染させてしまった場合の精神的ショックの大きさ、受検への影響など)
- ・再延期は難しいのではないかと。子供たちは楽しみにしているので、何らかの形で思い出づくりの代替行事を実施してほしい。(近距離、一泊、キャンプ、学校泊、卒業遠足など)
- ・厳しいガイドラインや制限を子供たちが知っているのか。これで楽しめるのか。我慢が多く逆にストレスになるのではないかと。
- ・子供たちの意見を聞いてほしい。
- ・不参加の子がいた時に、班行動などが成立しない。

生徒の思い(アンケート結果より)

- 1 ア：可能な対策をした上で、何としても修学旅行に行きたい。 35人
イ：可能な対策をした上で、磐周地区の動向に合わせ、可能なら行きたい。 41人
 ウ：修学旅行を中止して、3月に卒業遠足に行きたい。 11人
 エ：修学旅行を中止して、10月に代替案を計画してほしい。 9人
- 2 ア：1人でも不参加なら中止すべき。 8人
イ：10人以上が不参加なら中止すべき。 47人
 ウ：20人以上が不参加なら中止すべき。 34人
 エ：その他 8人

学校での判断理由

- ①全国的な感染拡大。現在の静岡県の警戒レベルが4。京都・大阪での感染拡大。
 →感染リスクの回避は困難と判断。保護者の不安を払拭できない。メリット<リスク(命、心)
- ②磐周地区の多くの学校が中止を決定。→生徒アンケートでもこの点を考慮すると過半数が中止。
- ③100人規模の予約・再計画は日程的に厳しく、代替案では修学旅行の目的を達成できない。
 →近隣の県でも感染拡大。計画と準備があつてこそその旅行的行事。
- ④生徒や保護者の「思い出づくりを」という思いには何とか応えたい。
 →感染拡大状況から可能であれば、3月のお別れ遠足が妥当と判断。(公立入試から発表の間)

担 当 第3学年主任 太田 雄司
 修学旅行担当 種田 正
 電 話 85-4101